

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
だい 1 1 期 だい 1 年 だい 1 回 だい 2 日
ぎじろく
議事録

1 日時 2016 (平成28)年5月22日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 24人

葉 元聡、鈴木 イエレナ、チャクラヴァルディー あるなんしゅ、金 スンオ
グ、タカハシ ライゼール ラモス、レ ベト ギア カン、幕内 嘉雯、河本
ファビオ 良則、ヘイ ジャフィ、スタント イルワン、ピーターソン ケリー、
河 相宇、バルトコバ オクサナ、ホサニ アハマド ユースフ、牟 鳳菊、
ディットマー ダニエラ、韓 簫、ザスカ カリーナ、ケゼングア
エドワード ムウインピ、徐 智妍、キースタ ケーシー ジェイ、蔣 香梅、
ヴィラマー ジェリー、鎌田 ファチマ

(2) 事務局

鈴木 室長、小川 担当課長、長澤 担当課長、須藤 課長補佐、小沢 担当
係長、丸橋 職員、西村 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 1人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ヘイ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2016年度、第1回

第2日を開催する。今日は、カティワダ・ブスカさんとヒラチャン・アスカさんから欠席の連絡をいただいている。まずは、今日の日程と配付資料の確認について事務局から説明をお願いする。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

ヘイ委員長「次に、前回会議のまとめについて事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まず、第11期の調査審議についてだ。最初に会議の運営について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

ヘイ委員長「ここまでで何か質問はあるか。(なし)では、続いて部会の設置について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

ヘイ委員長「事務局からの説明について何か質問はあるか。(なし)それでは、部会の設置について審議する。資料には、これまでの課題を踏まえて改善案のたたき台が載っている。今までどおりの方法で部会を設置するか、それとも課題を踏まえて改善するかを考えたいが、どちらの案も部会を設置することには変わらないと思うので、まずは部会を設置するかどうか決めてしまいたい。何か意見はあるか。(なし)それでは、部会を設置することに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、部会を設置するという事で決まった。次に、今までと同じように次回の会議で部会を設置するか、それとも改善案のように部会の設置をもう少し先延ばしにするかについて、意見のある人はお願いする。」

金委員「私自身も第10期に参加して、いろいろな課題が出て、それを絞り込むのにすごく時間がかかり、あまり十分話し合えなかったというを経験した。それぞれの代表者の意見というのもあると思うが、せっかく20年ぶりに外国人市民意識実態調査を実施したということなので、代表者自身がこれを学んでから、その後で課題を絞り込んだらいいのではないかと思う。」

タカハシ委員「代表者会議のスケジュールだが、資料にもあるように全部で20回もなく、すごく時間が過ぎている。今はまだ始まったばかりなので、時間もたくさんあるように感じるかもしれないが、実際にはあっという間に終わる。私も改善案に賛成だ。」

ディットマー委員「私も基本的に改善案に賛成だが、自分の理解があっているかどうか確認したい。この改善案のスケジュールを見ると、テーマの絞り込みが部会設置の前に来ている。それは、ある程度みんなでテーマを絞ってから、部会で具体的に審議していくということによいか。」

ヘイ委員長「事務局から補足はあるか。」

事務局高橋専門調査員「あくまで、みなさんが決めることだが。改善案を考えるうえで課題だと思っていたことの1つは、部会のテーマが7つや8つでは多すぎるとのことだ。各部会で審議するテーマの数は、3つか4つくらいが妥当なのではないかと考えている。」

河本委員「10期のときは、やはり提言を絞ってまとめるのに時間がかかってバタバタしたという反省がある。最初に勉強をして、ある程度テーマを絞ってから集中して審議した方がよいと思う。」

タカハシ委員「前回のテーマを見ると、福祉教育部会は11で社会生活部会は10だ。

それを7回くらいの会議で審議したので、1回の会議で2つか3つくらいのテーマについて話し合った。1回の部会の会議は約1時間なので、どうしても内容が浅くなってしまう。最終的にはなんとかよい提言をまとめることができたが、きちんと提言の価値が共有できて、それを伝えられたかは少し疑問。」

キースタ委員「たしかに、前期のテーマはあまりにも多過ぎると感じた。一方で、改善案のスケジュールだと絞り込んでからの審議は4回になっている。もう1回くらい審議の回を増やした方がよいのではないか。」

ディットマー委員「グループワークの前にある程度テーマを絞ってからグループワークをした方が効率的だと思う。」

ピーターソン委員「私もグループワークの前にテーマを絞った方がよいのではないかと思う。部会で審議する時間も若干少ないように感じる。」

ホサニ委員「私も部会で審議する時間を長くした方がよいと思う。一方で、最初からテーマを絞るのも難しいかもしれない。」

スタント委員「私も部会の審議が5回はあった方がよいと思う。」

ヘイ委員長「いろいろとみなさんから意見が出た。ひとまず、いつ部会を設置するかについて決をとりたい。A案の次の6月の会議で部会を設置することに賛成の人は手を挙げてください。(なし)では、B案の調査結果の学習やグループワークを踏まえて設置するのに賛成の人は、手を挙げてください。(全員賛成)それでは、部会の設置についてはB案の調査結果の学習や

グループワークをしてから設置するということに決定した。引き続き、もう少し具体的に進め方について考えていきたい。話し合うポイントとしては、1つ目に、調査結果の学習をどうするか。2つ目に、グループワークをどうするかということがあります。とくに、グループワークについては、グループの数、また話し合うテーマ、グループのメンバーをどうするか、などを決める必要がある。」

キースタ委員「スケジュールについて1つ提案したい。12月に予定されているテーマの絞り込みを9月に実施して、その後にもう1回グループワークをして、12月に部会の設置にすれば部会の審議が1回分増える。」

ディットマー委員「繰り返しになってしまうが、グループワークの前にテーマの絞り込みをした方がよい。そうすれば、12月に部会の設置ができる。」

金委員「部会審議ではある程度テーマを絞って、審議を深めていくということになるので、賛成だ。ただ、グループワークではまだ誰がどんなことに関心があって議論したいのかわからない段階だ。そういった段階で最初からテーマを絞ってしまうことに抵抗がある。グループワークでは、調査結果を踏まえながら、ある程度自由に意見交換をして、関心を共有しながら少しずつテーマを絞っていくのがよいのではないか。」

レベト委員「調査結果は非常にボリュームがあるので、全部学習するのはかなり難しいと思う。最初にみなさんに議論したいテーマを聞いて、ある程度絞って勉強した方がよいのではないか。」

ヘイ委員長「いろいろ意見が出ているが、先に決められそうなことから決めてしまいたい。グループの数についてはどうだろうか。案では3つか4つとなっているが、この点について意見はあるか。(なし)とくにないようなので、先にグループの数を確定させてしまいたい。3つか4つで賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、3つか4つということで決定だ。メンバーを固定にするか、入れ替えるかについてはどうか。」

ホサニ委員「グループワークを2回するのであれば、ずっと固定よりは1回くらい入れ替えた方がよいと思う。」

ディットマー委員「全部のグループが共通のテーマで話し合うならメンバーが入れ替わってもよいと思うが、グループごとにテーマが違うのであれば固定の方が効率がよいかもしれない。」

レベト委員「テーマを先に決めてから、テーマに興味のある人がグループをつくっ

て議論をするのがよいと思う。」

ヘイ委員長「これは私の意見だが、興味のある人同士で深く話し合うのもよいが、一部のひとだけで議論をすると意見が少し偏ってしまうかもしれないということとを心配している。一部のひとだけで盛りあがるのではなく、あまり関心のないひとや反対意見も含めていろいろな方向から検討することも必要だ。」

韓委員「学校、教育、子育てなど関連のあるテーマをいくつかまとめてグループをつくるのがよいと思う。」

キースタ委員「私たちは3万3,000人の代表者だということも重要だ。自分が話したいことだけではなく、まずは調査結果について広く勉強して、私たちが以外の人困っている課題についても勉強してから審議したいテーマを出すのがよいのではないか。」

ケゼングア副委員長「私もケーシーさんの意見に賛成だ。やはり自分たちが忘れてはいけないのは、もちろん自分たちが興味のあるところは大事だが、自分たちはあくまでも川崎市に住んでいる外国人の代表者だ。ここに出てこられないような外国人が抱えている問題も把握した上で、テーマを決めていかなければいけないと思う。」

ピータニソン委員「私もみなさんの意見を聞いていて、ケーシーさんや副委員長と同意見だ。代表者としては、まず調査の結果を踏まえて、どういう課題を多くの外国人が感じているのかという理解した上で、自分たちが興味のあるものと一緒に合わせて決めるのがよいと思う。」

チャクラヴァルティー委員「副委員長の意見に賛成だが、話を戻すとグループのメンバーは固定した方が、議論を深めることができるのでよいと思う。」

ヘイ委員長「グループワークについて、いろいろな意見が出ているが、ひとまず次の会議についてどうするか決めなければいけない。6月は調査結果についてということでよいか。（異論なし）では、決をとる。6月は調査結果についての回ということで賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）では、6月に関しては調査結果について学ぶということで決定だ。調査結果についてどうやって勉強するかということなのだが、これまでのみなさんの意見を踏まえると、広く勉強するという案と関心のある分野に絞って勉強するという案になるのかと思う。何か意見はあるか。」

ホサニ委員「調査結果については広く勉強して、それからテーマを絞るのがよい。」

ザスカ委員「調査結果を踏まえるのも大事だが、調査結果を踏まえて、そのなかから自分の興味のある部分をやれば良いと思う。」

ヘイ委員長「事務局から調査について少し補足してもらえるか。」

事務局高橋専門調査員「この調査は第8期のときに調査をして欲しいという提言が出て実現したもの。なぜ調査が提言になったかという、代表者が自分たち以外の人たちがどういうことで困っていたり、どんな課題があったりするのかわかるといって知りたいということがあったから。最終的に決めるのはみなさんだが、実際、私も調査に関わって、ぜひみなさんにほかの人たちがどういうことで困っているのかわかってもらいたいと思っている。調査結果はボリュームが多いが、6月の会議だけで終わりということではなく、2年間を通して活用していくものだと思う。まずは広くたくさん課題を知ってもらうことが大切だと思う。」

ザスカ委員「広く見過ぎてしまうと、グループワークで絞ることができなくなってしまうので、やはりある程度絞った方がよいと思う。」

ディットマー委員「調査結果については、あくまでも調査結果を全体的に見て、グループワークに入る前にいくつかのテーマに絞るとよいのではないかなと思う。」

ヘイ委員長「調査結果について全体的に広く見るという意見とテーマを絞ってみるといふ意見の2つが出ていると思うが、他の意見はあるか。(なし)では、この2つで決をとりたい。まず調査結果については広く勉強するという意見に賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数)賛成多数ということで、決定だ。グループワークの進め方に関しては、次回また話したい。今日、出た意見も踏まえて、事務局とも相談して案を準備したい。事務局から補足はあるか。」

事務局高橋専門調査員「次回、事務局が準備する資料についてのリクエストがあればお聞きしたい。(とくになし)」

ヘイ委員長「とりあえず、とくにないということだが、あとから何かあれば事務局に連絡してください。それでは10分間の休憩とする。」

(休憩)

ヘイ委員長「それでは会議を再開する。次は実行委員会について。事務局から説明をお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料3に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問はあるか。(なし)実行委員会をつくるかどうかについて意見はあるか。(なし)では、決をとりたい。実行委員会をつくることに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、実行委員会をつくることに決定した。必ず全員がどこかの実行委員会に参加するということにしたいが、賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数)賛成多数ということで、みなさん必ずどこかの実行委員会に参加してください。設置する実行委員会については、これまでと同じ3つの実行委員会でよいか。何か意見はあるか。」

レベト委員「臨時会の実行委員会というのは、具体的にどういう仕事をするのか。」

ヘイ委員長「11月に予定されている臨時会に関して、全体で議論する前に話し合っただけのたたき台をつくったり、当日の準備や運営で中心となって動いたりといった仕事だ。他に何かあるか。(なし)では、設置する実行委員会は、臨時会実行委員会、市民祭り実行委員会、ニューズレター編集委員会の3つでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、実行委員会が決定したので、誰がどの実行委員会に参加するか希望を聞く。(順番に挙手)欠席者が2名いるが、人数のバランスは問題がなさそうなのでこれで決定とする。次は、審議会の委員についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料4に基づき説明。)

ヘイ委員長「少し補足をしたい。成人式実行委員会については、去年私がやった。年に5回程度の会議で、成人式の企画をしている若い人たちと一緒に話し合っただけの企画を決めていく委員会だ。市民祭り実行委員会は、去年は河本さんが委員だったので何か補足があればお願いする。」

河本委員「それほど難しいことはなくて、市民祭りの運営に関して話し合いをしたり、式に出席してあいさつしたりといった感じだ。集まりは平日の午後が多かった。」

ヘイ委員長「何か質問のある人はいるか。(とくになし)では、まずは全部の委員会について順番に立候補を聞いていきたい。」

【立候補】

川崎市成人式企画実施委員会 - ザスカ委員
かわさき市民祭り実行委員会 - ホサニ委員

川崎市青少年問題協議会 — 牟委員、蔣委員

川崎市国際交流センター活用推進検討委員会 — 徐委員

ヘイ委員長「それでは、決めていきたい。川崎市成人式企画実施委員会はザスカさん
でよいか。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）決定だ。かわさ
き市民祭り実行委員会はホサニさんでよいか。賛成の人は手を挙げてください。
（全員賛成）決定だ。川崎市青少年問題協議会については。立候補が2人
いるがどうするか。それぞれ思いを話してもらえるか。」

牟委員「今、学校で民族文化講師や日本語指導等協力者の活動をしている。学校の
問題、青少年問題に興味があり、自分の子どもも3人いてシンガポール、日本、
台湾の学校に通った。どこの国でも青少年問題はあり、興味があるので参加し
たいと思い立候補した。」

蔣委員「私も学校で日本語指導等協力者の仕事をしている。外国の子どもだけでは
なくて、日本の子どももそうだし、私も息子が2人いるので大変さは理解し
ているつもりだ。子どもは生まれたときは真っ白なので、何でそんなに育て方
を間違えたとか、勉強できないからいろいろな問題が出てくるとか、よく言わ
れますが、私はそうは思わない。やはり自分がやりたいこととか、自分が好
きなこととか、いろいろなよいところを発見しないとイケないと思う。とても
興味があるので、ぜひお願いします。」

（ 多数決 → 牟委員 ）

ヘイ委員長「多数決の結果、牟さんに川崎市青少年問題協議会の委員をお願いする。
続いて、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会は、徐さんでよいか。
賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）決定だ。

では、次の議事に移る。次は視察についてだ。事務局から説明をお願いす
る。」

（事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明。）

ヘイ委員長「事務局から、視察だけではなくフィールドワークという提案もあった。
まずは何か質問はあるか。」

ディットマー委員「フィールドワークの場所と視察の場所は同じか。」

事務局高橋専門調査員「同じ必要はない。第10期でも、視察のほかに
フィールドワークを行った。視察はバスが使えが、1回だけだ。
フィールドワークは、バスは使えないが審議していく中で必要に応じて柔軟に
何度でも実施すればよい。」

ザスカ委員「フィールドワークは全員で行くのか。それとも部会で行くのか。」

事務局高橋専門調査員「フィールドワークの提案は部会の中に出てくると思うが、参加は部会に関係なく誰でもできる。」

ヘイ委員長「ほかに質問はあるか（なし）では、意見はあるか。（なし）

それでは、まずは視察の時期について決めたい。資料にあるように、10月の月上旬に実施することで賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）では、視察は10月の月上旬に実施する。次に、スケジュールは半日なのか1日なのか決めたい。半日に賛成の人は手を挙げてください。（9人）1日に賛成の人は手を挙げてください。（14人）スケジュールは1日ということに決まった。それでは、視察場所の優先順位を決めたい。1人1回手を挙げてください。」

【希望】

川崎市平和館 — 0人

男女共同参画センター — 4人

川崎市生涯学習プラザ — 2人

川崎市教育文化会館 — 2人

川崎市市民ミュージアム — 14人

川崎市ふれあい館 — 2人

川崎市立日本民家園 — 1人

横浜市国際交流ラウンジ — 2人

ヘイ委員長「一番多かったのは川崎市市民ミュージアムなので、市民ミュージアムを中心に事務局はスケジュール案を組んでみてください。次の議事は多文化フェスタさいわいについてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局丸橋職員が資料6に基づき説明。）

ヘイ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、参加に賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）賛成多数ということで参加することに決まった。具体的に何をするかは改めて実行委員会などで話し合ってもらい決めたい。今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

・実行委員会について

・川崎市の外国人市民施策・多文化共生施策を考える市民フォーラムについて

- ・^{ていしゅつぶつ}提出物について
- ・^{がいこくじんしみんいしきじつたいちようさ}外国人市民意識実態調査について（^{がいようせつめい}概要説明）

へい いいん じかい かいぎ は がつ 19 日、 にち にちようび、 ごご 2 時から、 ここ 国際交流 センターで かいぎ 開催する。 これで 2016 年度 第 1 回 第 2 日の かいぎ 会議を 終わりにする。 お疲れさまでした。」